

チェックリストによる河川事業の再評価項目（その1）

河川名	西大堀川	事業名	広域河川改修事業	事業区間	徳島市国府町
再評価の実施理由		再評価実施後5年が経過しており、事業の必要性・効率性を再度評価する必要がある。			
未着工或いは事業が長期間要している理由			事業には着手しているが、一連区間を改修する事業計画規模であり、長期の事業期間を必要とするため。		
事業内容	事業目的	河積の拡大等により浸水被害の軽減を図る。			
	事業実施内容	全体計画延長L=2,300m（西大堀川=1,440m、東大堀川=860m） 掘削 80,000m <sup>3</sup> 、護岸 3,750m <sup>2</sup> 、道路橋9橋			
	目標流量	25m <sup>3</sup> /s	治水安全度（当該事業目標）		1/5
事業の進捗状況	事業採択年	H8	工事着手年	H8	完成目標年 H35
	全体事業費（内用地費）	25.0億円 9.4億円	投資事業費（内用地費）	16.7億円（進捗率 67%） 7.2億円（進捗率 77%）	
	事業進捗状況	全体改修延長2,300mのうち、約1,010mが完了している。			
	一連の整備効果の発現状況	改修済区間では河道が拡大し、浸水被害が軽減されている。			
事業を巡る社会情勢等の変化	現状での課題	現況河道断面の疎通能力は極めて小さく、上流域では度々浸水被害をうけている状況である。河積を拡大し浸水被害の軽減を図る必要がある。			
	事業目的に関する諸状況	災害発生時の影響（想定氾濫区域内）	（事業着手時点）		
	過去の災害実績	（S38～H24の水害統計、H16浸水痕跡マップ）			
	災害発生の危険度	①被災頻度：S43, S47, S49, S50, S51, S54, S62, H2, H5, H16 ②最大浸水戸数：床上2戸、床下275戸（昭和43年台風16号） ③最大浸水面積：425ha（昭和62年台風19号）			
		①改修目標流量に対する現況流下能力の割合：35% ②現況の治水安全度：1/1			

チェックリストによる河川事業の再評価項目（その2）

河川名	西大堀川	事業名	広域河川改修事業	事業区間	徳島市国府町
続き	地域の状況	<p>① 地域開発の状況 流域内には徳島環状線や徳島南環状道路の整備が進められており、今後流域の開発が進むと予想される。</p> <p>② 地域の協力体制 用地買収について地元の協力が得られている。</p> <p>③ 関連事業との整合性の変化 改修区間上流域では、徳島市による都市下水路事業があり、東大堀川が流末となることから改修の必要性が高い。</p> <p>④ 地域の事業に対する社会的評価 浸水被害軽減の効果が発現されており、地域の評価は高い。</p>			
費用対効果分析	<p>費用：</p> <p>総費用の算定は、以下に示すとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総事業費 全体事業費のうち執行済事業費は治水デフレーターで、残事業は将来の割引率(4%)を考慮して現在価値化したうえ積算した。 建設費 = 3,637 百万円</li> <li>・維持管理費 1年間当たりの維持管理費について、H26年から事業完成までと事業完成後（50年間）を対象に将来の割引率(4%)を考慮して現在価値化したうえ積算した。 維持管理費 = 258 百万円</li> <li>・総費用 総事業費+維持管理費で算出した。 総費用 = 3,637 + 258 = 3,895 百万円</li> </ul>				
	<p>効果：</p> <p>総便益の算定は、以下に示すとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・純便益 事業中の便益として、年平均被害軽減期待額（204百万円）を、事業完成までの10年間（平成26年～平成35年）にわたり現在価値化して積算した。さらに事業後の便益として、年平均被害軽減期待額（436百万円）を、事業完成後50年間（平成36年～平成85年）にわたり現在価値化して積算した。 純便益 = 8,302 百万円</li> <li>・残存価値 評価対象期間終了時点における構造物と用地の残存価値を現在価値化して積算した。 残存価値 = 46 百万円</li> <li>・総便益 純便益+残存価値で算出した。 総便益 = 8,302 + 46 = 8,348 百万円</li> </ul>				
	<p>費用対効果分析の結果</p> <p>費用便益比 <math>B/C = 8,348/3,895 = 2.1</math>（全体事業） 費用便益比 <math>B/C = 3,523/783 = 4.5</math>（残事業）</p> <p>&lt;感度分析結果&gt;</p> <p>残事業費：<math>B/C = 2.1</math>（+10%の場合）、<math>B/C = 2.2</math>（-10%の場合） 残工期：<math>B/C = 2.1</math>（+10%の場合）、<math>B/C = 2.2</math>（-10%の場合） 資産：<math>B/C = 2.3</math>（+10%の場合）、<math>B/C = 1.9</math>（-10%の場合）</p>				